

## 猫好きの皆さんにお願いしたいこと



- ★ 飼い猫には、雌雄に関わらず必ず不妊・去勢手術を受けさせて下さい。
- ★ 飼い猫は、家の外に出さずに完全室内飼いでの飼養をお願いします。(猫は、室内飼いでストレスを感じる動物ではありませんし、慣れれば犬と同様に首輪とリードで散歩することも可能です)
- ★ 野良猫にエサだけを与えて自然のままにしていると、やがて妊娠出産を繰り返し、ネズミ算的に増えてしまいます。自宅で飼えないのなら、無責任にエサをやるのはやめましょう。
- ★ どうしてもエサをやるのを止められない状況の時は、捕まえて不妊・去勢手術を受けさせましょう。(捕獲については、当協会にご相談下さい) 今以上に数が増えるのを防げますので 近隣からの苦情が出ている場合などでも、平和的解決が望めるかもしれません。



西宮浜までわざわざ来て下さった皆さん！  
本当にありがとうございました！

## 平成18年度の野良猫基金バザー (春と秋の2回開催) こんなにたくさん売れました！

日 時	5月14日(日)晴	10月29日(日)晴
場 所	JR芦屋駅北ペDESTリアンデッキ	新西宮ヨットハーバー
売 上	51,300円	92,000円
寄 付	3,000円	22,000円
諸 経 費	11,011円	17,779円
差引利益 (基金算入額)	43,289円	96,221円

ご協力ありがとうございました。  
今後も年2回のバザー開催を予定しております。  
引き続きご支援下さいますよう宜しくお願いいたします。

## ＝ 計 報 ＝



### 石橋梅子さんの思い出

福田 純治

当協会の副会長、石橋梅子さん(前幹事長)が去る10月2日に亡くなられました。

協会が設立された昭和28年に入会された石橋さんは、その後約半世紀近くもの間、会の運営の軸となって、熱心に活動して来られました。

新聞記者だった私が石橋さんと知り合ったのは昭和34年に打出こども動物園(お猿の公園)の開園式の模様取材に行った時のことでした。それ以来、さまざまな協会の行事がある度に私がカメラを肩に駆けつけますと、「ふくちゃん、いつもご苦労様！明るい記事をたくさん書いてね」と気を遣って労いの言葉をかけて下さり、とても嬉しかったことを憶えています。

その当時の石橋さんは、何処かに捨てられていた仔犬や仔猫を拾って来ては一生懸命に育てたり、小学校の飼育小屋から度々逃げ出すキジを捕まえようとして町内を走り回ったり、資金集めのバザーや犬の交換会(里親譲渡)を開いたり、東奔西走の忙しい毎日を送られていました。

動物愛護活動だけではなく、学校のPTA活動やクリスマスチャンとして教会の奉仕活動にも熱心に取り組んでおられたようです。

そして、最初の出会いから40年もの時が流れた平成12年のことです。仕事を退職した私は、石橋さんからの誘いを受けて、協会の広報委員として会報誌作りを手伝うことになり、再び顔を合わせる機会が多くなりました。

石橋さんは、私が会報誌のネタに困ると、いつでも快く記事を書いて下さり、また、時には得意の短歌をお寄せ下さったり、常に頼りがいのある方で、幹事長としても、市内各町に散在する地区幹事の取りまとめ役をしっかりと務めておられました。

思い返せば、あの阪神大震災の後、この協会が存続することが出来たのは、ひとえに石橋さんのご尽力のお陰だったと感謝しております。

石橋さん、長い間本当にありがとうございました。  
ご冥福を心からお祈り致します。

